

平成29年10月10日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

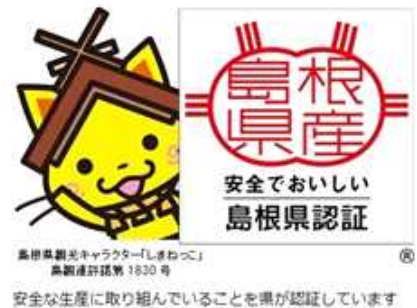
標 題	今年新規設立した（農）城九郎 美味しまね認証を取得！ ～「つや姫」マイスターが所属する法人で後継者育成に活用～
-----	--

（ダイジェスト）

今年の9月に（農）城九郎が「美味しまね認証」を米で取得しました。（農）城九郎は、若手構成員を加えて今年の1月に設立した法人であり、「美味しまね認証」を活用して後継者育成や安心・安全なお米の販売を行っていきます。

（農）城九郎は、今年の1月に設立した法人で、30～40歳代の若手組合員を含めた11名で構成されており、益田市美濃地町において水田農業経営を通して地域の農地維持や農業環境の保全に取り組んでおられます。

今年9月（農）城九郎は「安全で美味しい島根の県産品認証制度」（通称：美味しまね認証）を「米」で取得しました。安全・安心な米を生産する取組を消費者に伝え、生産物の信頼確保に活用しようとしています。



また、（農）城九郎は農業経験の浅い若手構成員が多いことから、農業生産工程管理（GAP）の手法を導入することで、「農業のノウハウ」や「基本ルール」を若手構成員が習得しやすくなることを狙っています。そして何よりも、組合員や地元の人たち自らが食べたいお米をつくれる環境を整えていくきっかけづくりをしていこうとしておられます。

東京オリンピック・パラリンピックの食材確保等の影響により、GAP認証が注目を集める中、美味しまね認証は平成29年9月15日現在、県内で経営体数205、品目数138の認証を受けています。「米」では県全体で24の認証件数のうち、その3分の1にあたる8経営体が西いわみで認証を受けています。

（農）城九郎の総務部長であり、しまねの「つや姫」マイスターでもある熊谷さんは、「美味しまね認証に取り組んで良かった。（農）城九郎は設立して1年目だが、法人の内部整理を行うことで、後継者への世代交代や引継ぎが楽になった。また、自信を持って城九郎のお米をみなさんに食べてもらうことができる。」と話しておられます。



当普及部では、美味しまね認証を活用して、地域の担い手組織の運営や、農産物のPRに役立ててもらえるよう支援していきたくと思っています。

左：（農）城九郎 豊田組合長